

# 授業科目                      統合実習

|  |  |   |                         |  |
|--|--|---|-------------------------|--|
| 【担当教員名】<br>塚本 康子、看護学科教員全員 他  | 対象学年   | 4   | 対象学科                    | 看護   |
|  | 開講時期   | 前期  | 必修選択                    | 必修   |
|  | 単位数  | 2   | 時間数                     | 90   |
| 【ディプロマポリシーとの関連性】   |  |   |                         |  |
| 知識・理解  | 思考・判断  | 関心・意欲   | 態度                      | 技能・表現  |
| ◎  | ◎  | ◎   | ◎                       | ◎  |
| 【概要・一般目標：GIO】<br>保健医療福祉チームの一員として、看護を統合的かつ継続的に展開し、自らの看護の専門性について考えるとともに、看護の実践能力を高める。   |  |   |                         |  |
| 【学習目標・行動目標：SBO】<br>1・臨地・臨床現場に即した看護活動を体験する。<br>2・チームメンバーとして看護活動を経験し、メンバーの一員としての自らの役割と機能について説明できる。<br>3・多面的な看護活動体験を通して、看護管理者の役割と機能について説明できる。<br>4・多職種との協働のなかで、看護職としてのメンバーシップならびにリーダーシップについて説明できる。<br>5・看護実践を通して、看護の専門性について述べられる。 |  |   |                         |  |
| 回数   | 授業計画・学習の主題   |   | SBO番号                   | 学習方法・学習課題<br>備考・担当教員   |
|  | 1・オリエンテーション<br>2・各実習施設においてチームメンバー・チームリーダー・看護師長に同行し、看護実践に参加する。<br>3・実習における学びをカンファレンスで統合し、実習最終日において報告会を企画・運営し発表を行う。<br>4・レポートでは、看護の専門性について考察を行う。 |   | 1～4<br><br>1～5<br><br>5 | 学内、担当：看護学科教員全員<br>臨地実習、担当：看護学科教員全員<br><br>臨地実習及び学内、担当：看護学科教員全員<br>課題学習、担当：看護学科教員全員 |
| 【使用図書】   | <書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格 他>  |   |                         |  |
| 教科書<br>(必ず購入する書籍)  |  |   |                         |  |
| 参考書  | 系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践1看護管理 上泉和子 他 医学書院 2013・2,500円＋税   |   |                         |  |
| その他の資料   | 実習要項   |   |                         |  |
| 【評価方法】<br>実習評価表に基づいて、実習内容、出席状況、報告会参加状況、レポートで評価する。<br>(配点比は実習評価表に明記)  |  | 【履修上の留意点】<br>これまでの臨地実習のように、看護過程の展開を中心とした実習ではありません。看護師の仕事の過程に注目した実習です。<br>実習方法も看護の行動の解釈が主体になります。実習記録も形態が異なります。実習オリエンテーションに必ず参加し、実習の構成をしっかりと理解した上で実習に取り組んでください。 |                         |  |